

# 2月～3月のイベント情報

## 世界のカブト・クワガタの 標本作り教室

オオムラサキセンターで飼育・展示していた世界のカブト・クワガタを標本にしてみよう！作った標本は、もちろん持ち帰れます。

開催日時 2月15日(日) 午前10～正午  
開催場所 北杜市オオムラサキセンター  
定員 15組(要予約)  
参加費 入館料、材料費800円  
持ち物 ピンセット・雑巾  
※標本にする昆虫はこちらで用意します。

## みそ作り教室

オオムラサキ自然公園でスタッフが大切に育てた大豆を使って、みそを作りましょう。

開催日時 3月8日(日) 午前10時～午後3時  
開催場所 北杜市オオムラサキセンター  
定員 15名(要予約)  
参加費 入館料、材料費800円  
持ち物 エプロン・三角巾・タッパー(みそ約1キロが入る大きさのもの)・お弁当・水筒

### <今後の予定とみどころ>

- ・ 3月14日 「スプリングギターコンサート」
- ・ 3月下旬 「ヤジロッチ工作教室」
- ・ 3月下旬 「小枝で作る！虫の工作」 など
  
- ・ 2月中旬～ ザゼンソウ(公園)

## お問い合わせ・お申し込みは

〒408-0024  
山梨県北杜市長坂町富岡2812番地  
北杜市オオムラサキセンター  
TEL 0551-32-6648  
oomurasaki@city.hokuto.yamanashi.jp  
開館 午前9時～午後5時  
=開館14年目です=

## きのこのホダ木作り

森ときのこの関係を学んだ後は、原木になめこ菌やしいたけ菌を植え込みます。できたホダ木は、持ち帰ってきのこを育てましょう！

開催日時 しいたけ 3月1日(日) 午前・午後  
ナメコ 3月3日(火) 午前のみ  
しいたけ 3月4日(水) 午前・午後  
午前 10時～正午  
午後 1時30分～3時30分  
開催場所 オオムラサキ自然公園  
定員 各回 25名(要予約)  
講師 秋山種菌研究所(3/1のみ)  
参加費 800円(ホダ木2本分)  
持ち物 軍手・(あれば)木づち・作業のできる服装  
防寒着

## 第10回 身近な自然のお便利コンクール 作品展示

まもなく 終了です

身近な自然を描いた応募作品全てを展示中です。葉書の中の小宇宙をぜひご覧下さい。

会期 平成21年 2月28日(土)まで  
会場 北杜市オオムラサキセンター  
※入館料でご覧いただけます。

## 企画展「昆虫たちにも不都合な真実 ～地球温暖化と昆虫たち～」

今大きな問題となっている地球温暖化は、人間だけの問題ではありません。昆虫の世界にも、温暖化の影響が現われています。昆虫たちの視点から温暖化問題を考えてみましょう。

会期 平成21年 3月20日(祝・金)まで  
会場 北杜市オオムラサキセンター  
※入館料でご覧いただけます。

編集後記：平成21年度のイベント一覧表を作成中です。先日のスタッフミーティングも無事切り抜け、手直しを加えつつ完成に向かっていきます。3月中にはペーパー版をお届けし、ホームページへも掲載できると思います。「こんなイベントあったらいいな」「この人のお話聞きたいな」等のご意見ご希望は随時メールやFAXで承っております。お気軽にご連絡下さい。 伊藤麻実

# オオムラサキ通信

## NO.118

発行：平成21年2月1日  
編集：北杜市オオムラサキセンター

## オオムラサキ最新情報



ゴマダラチョウの幼虫(左)とムーちゃん(右)

オオムラサキ自然公園のエノキの根本では、オオムラサキの幼虫(ムーちゃん)とゴマダラチョウの幼虫が越冬しています。どちらも食樹はエノキです。

公園では、夏になると、クヌギの樹液に集まるオオムラサキが観察できますが、ゴマダラチョウの成虫にはなかなか出会えません。

# アリニックス研究レポート

オオムラサキセンターの生態観察施設「ビバリウム長坂」では、毎年8月には1万～3万個の卵が産卵されていると考えられますが、翌年の夏に羽化し成虫になれる個体は、1000匹程度です。これまでの観察によって、アリが幼虫を捕食する場面がたびたび観察されており、ビバリウムにおいてはアリによる捕食が最も大きな幼虫の死亡原因であると考えてきました。

夏になるべく多くのオオムラサキの成虫を羽化させるためには、幼虫の生存率を上げる必要があります。アリ対策は私たちにとって大きな課題でした。これまでエノキの根本にガムテープを巻いたり、タングルフトという粘着性の強いアリの忌避材を巻いたりするなどの対策をしてきました。一昨年、株式会社ニックスより同社のアリ忌避製品 ARINIX（以後アリニックス）の紹介がありました。これは、プラスチックに忌避材が練りこまれているもので自動販売機などのアリ対策で使われています。これまでのアリ忌避剤のように薬品を散布するものではないので、環境に非常に優しい製品として注目をされています。そこで昨年からおオムラサキの飼育時においてアリニックスが実際にアリの忌避し、幼虫の生存率を高めるのに有効かを実証するための研究を行っています。2年の計画で研究を行う予定であるため、今回は途中経過を報告します。

はじめに起眠後の4～6齢幼虫における実験をしました。15本のエノキを選び、4月後半に越冬から起眠した4齢幼虫をエノキに20匹ずつ配置した後、5本の木の根本にはアリニックスを設置、5本の木にはタングルフトを塗布し、残りの5本は何も忌避材を設置しない木と3つに分け、それぞれの木の幼虫の生存数をカウントし、1週間ごとに生存数がどのように変化していくかを調べました。それぞれの条件下における平均生存個体数と平均生存率は表1のとおりです。



アリニックス設置状況



タングルフト設置状況

アリニックスやタングルフトを設置した木よりも忌避材を設置していない木のほうが幼虫の生存率が高いという結果がでました。これはアリニックス、タングルフトともに4～6齢幼虫の天敵に対して忌避効果がなかったと考えられます。逆に考えると4～6齢幼虫の天敵はアリなどの歩行性昆虫ではなく、翅を持ちエノキに飛来してくるアシナガバチやカメムシなどの昆虫であることが示唆されます。これは5～6齢幼虫の死亡原因は、アシナガバチ類、鳥による捕食によるとした小林隆人さんらの先行研究（小林・稲泉 1999）を裏付けるものでもあります。

実験木	日付	5/11		5/19		5/27	
		平均個体数	平均生存率	平均個体数	平均生存率	平均個体数	平均生存率
ARINIX		10.2	51%	6.4	32%	7.8	39%
タングルフト		11	55%	10.6	53%	11	55%
忌避材なし		12.8	64%	13.4	67%	12.2	61%
計		11.3	57%	10.1	50.5%	10.3	51.5%

表1 各条件下における4～6齢幼虫の平均生存個体数と平均生存率

続いて3～4齢幼虫における実験を行いました。9本のエノキを選び、それぞれの木に10匹ずつ幼虫を配置します。春と同じように3本の木にはアリニックスを設置、3本の木にはタングルフトを塗布し、残りの3本は何も忌避材を設置しない木と3つに分け、それぞれの木の幼虫の生存数をカウントし、1週間ごとに生存数がどのように変化していくかを調べました。それぞれの条件下における平均生存個体数と平均生存率は表2のとおりです。最も生存率が高かったのはアリニックスを設置した木で、続いてタングルフトを塗布した木、最も少なかったのが忌避材を設置していない木でした。これは3回の計測日全てで

見られた結果であったことから、アリニックス、タングルフトともに3～4齢幼虫の捕食者（天敵）に対して、一定の忌避効果があったといえ、3～4齢幼虫の天敵はアリなどの歩行性の昆虫であることも示唆されます。これも若齢幼虫の大きな死亡原因を草地などではアリの捕食とした小林隆人さんらの研究を裏付ける結果となりました。

アリニックス、タングルフトともに、天敵への忌避効果がありましたが、どの調査日においてもアリニックスのほうが生存率は高かったことから、タングルフトよりもアリニックスのほうがアリへの忌避効果が高かったといえるでしょう。

今回の調査では、幼虫の生存数が増えてしまうような木もありました。これはカウント時に幼虫を見落としてしまったためと考えられます。特に春の調査においては、エノキも葉が多く幼虫も動くことが多いため、どうしても見落としがちです。来年度も同じ実験を行う予定です。今年度の反省点を活かし、より精度の高いデータが取れるように

していきたいと思えます。この研究については来年度の実験を行った後で正式な報告をする予定です。このような地道な調査を重ねオオムラサキの保護に役立てていきたいと考えています。

実験木	10/7		10/19		10/25	
	平均個体数	平均生存率	平均個体数	平均生存率	平均個体数	平均生存率
ARINIX	7.6	76%	7.6	76%	7.3	73%
タングルフト	4.3	43%	6	60%	5.3	53%
忌避材なし	3	30%	1.6	16%	1	10%
計	5	50%	5.1	51%	4.5	45%

表2 各条件下における3～4齢幼虫の平均生存個体数と平均生存率



マンサク

公園では、マンサクが咲き始めました。その他にも、ミツマタやザゼンソウの花が咲き始めています。野鳥では、シジュウカラ・ヤマガラ・エナガの群れやジョウビタキなどがよく見られます。

## おいしいベーコンを作って食べよう！（準備編）

1月31日（土）午前10時より、「ベーコン作り体験」（下準備）を森林科学館で行いました。

使用したのは、豚のバラ肉です。塩やスパイスなどをレシピどおりに計って混ぜ合わせ、肉に刷り込みます。実は、この日の作業はこれで終わりです。やる気満々の参加者のみなさんは、簡単な作業にちょっと拍子抜けしたようでしたが、ベーコン作りは自宅でも作業があります。次回までに、冷蔵庫で肉を寝かせて塩抜きをし、よく水気をふいて乾かしてきてもらいます。こちらも難しくありません。ベーコンなどの燻製は、「難しそう・・・」「道具がいろいろ必要そう・・・」と大変なイメージがあるようですが、時間はかかるものの意外に手間なくおいしく作るすることができます。



次回は、講師の先生とともに、広葉樹のチップを使ってくん煙をします。下準備なしでおいしくできるチーズの燻製も作って試食します！

## 今年もよろしくお願ひいたします

2009年が始まりました。今年も、よりよい施設を目指して職員一同がんばっていききたいと思います。今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

QRコード（右）を読み取ると、携帯電話用HPにアクセスできます。最近更新しています。

